



「市町村民経済計算」からみた県内各市町村経済の現状

先頃、『平成26年度秋田県市町村民経済計算年報（秋田県調査統計課）』が公表された。「平成の大合併」により、県内に69市町村あった自治体が25市町村に再編されるなど、県内の市町村の枠組みが大きく変わるなか、このたびの市町村民経済計算の推計結果と、合併がピークを迎えた17年度の翌18年度のそれを比較しながら、この間、県内の各市町村の経済規模や産業構造、所得水準がどのように変化したのかを、計数に基づき概観する。

1 市町村民経済計算とは

市町村民経済計算は、国のGDP統計（国民経済計算）や県の県民経済計算の市町村版にあたり、県内市町村の経済全体を見渡すことができる唯一のマクロ統計である。即ち、各市町村を単位として、財やサービスなどの生産活動によって一定期間に新たに生み出された「付加価値（＝総生産）」を、「生産」と「分配（所得）」の両面から推計したものである。（ここでいう付加価値とは、具体的には、生産された財やサービスの産出額から原材料や部品代などの中間投入分を差し引いたもの。）推計にあたっては、県民経済計算の県値を用いて各市町村の水準を示す各種統計指標から按分して算出する。

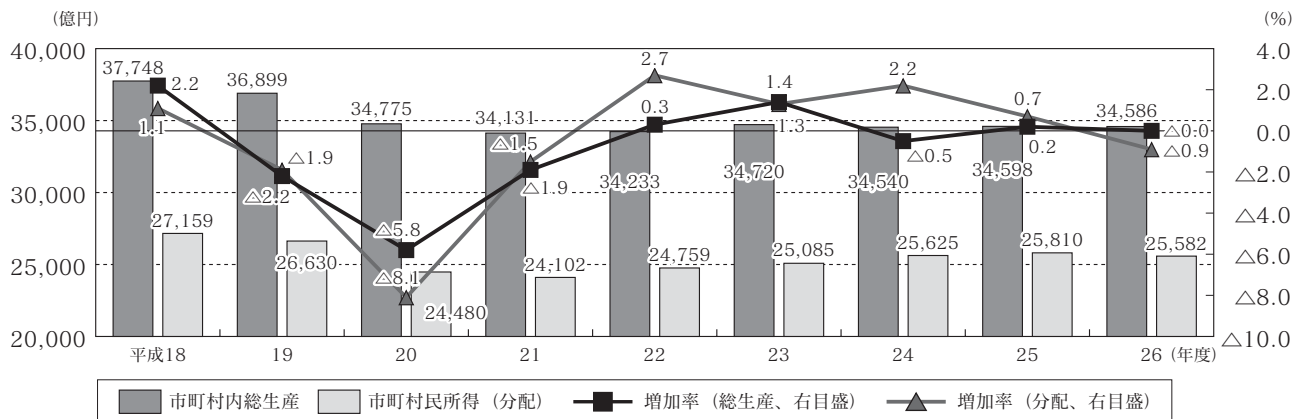
この統計からは、県内の各市町村の経済規模や産業構造、所得水準など、市町村においてどのような産業がどの程度の付加価値を生み出しているか（市町村内総生産）、生み出された付加価値が生産活動に参加した個人や企業の所得としてどのように配分されているか（市町村民所得）を、数値等で客観的に知ることができる。

ただし、公表時期は推計に用いる基礎資料の制約等もあり、対象年度終了後の概ね2年経過後のこの時期となる。

2 市町村内総生産及び市町村民所得の推移

平成18年度から26年度における県全体の市町村内総生産及び市町村民所得の実額と増加率の推移をグラフで表したものが図表1である。

図表1 市町村内総生産・市町村民所得の推移（平成18年度～26年度）



資料：秋田県調査統計課『平成26年度秋田県市町村民経済計算年報』(以下、図表同じ) (注) 計数は全て名目値 (同左)

19年度までは何れも比較的堅調に推移していたが、20年秋の米国経済の悪化に端を発した、いわゆる「リーマン・ショック」を境に、プラス・マイナスの振幅が大きいものとなっている。18年度に約3兆8千億円あった総生産は20年度には約3兆5千億円と、約3千億円（おおよそ横手市1市の規模）をも失う結果となった。その後、22年度は、こうした急激な経済悪化からの回復途上にあつて、総生産、所得ともに18年度以来4年ぶりのプラス成長となり、それ以降、東日本大震災の発生や、本県の製造業をリードするTDKグループによる生産拠点再編に伴うショック等があつたものの、引き続き緩やかな回復基調を辿っている。

3 市町村内総生産の概況

市町村別の経済規模を示す市町村内総生産の平成26、18の両年度について、人口規模の状況とともにまとめたものが図表2である。

(1) 総生産の規模

26年度の総生産額で上位市町村の状況をみ

図表2 市町村別総生産規模の概況（平成26年度）

順位	市町村名	総生産額(百万円、%)			人口(人、%)			1人当たり総生産額(千円)		
		実数	シェア	H26/H18	順位	実数	シェア	順位	実数	対県平均
1	秋田市	1,275,258	36.9	△5.9	1	318,700	30.7	5	4,001	120.0
2	横手市	287,638	8.3	△6.7	2	93,111	9.0	8	3,089	92.6
3	由利本荘市	254,386	7.4	△11.8	4	80,859	7.8	7	3,146	94.3
4	大館市	245,667	7.1	△1.5	5	75,185	7.3	6	3,268	98.0
5	大仙市	241,104	7.0	△17.3	3	84,006	8.1	10	2,870	86.1
6	能代市	224,547	6.5	2.9	6	55,684	5.4	4	4,033	120.9
7	湯沢市	131,197	3.8	△16.1	7	47,623	4.6	14	2,755	82.6
8	にかほ市	119,063	3.4	△22.2	13	25,862	2.5	3	4,604	138.0
9	北秋田市	96,748	2.8	△14.9	8	33,745	3.3	11	2,867	86.0
10	鹿角市	93,901	2.7	△8.1	10	32,295	3.1	9	2,908	87.2
11	潟上市	77,790	2.2	△1.2	9	33,344	3.2	20	2,333	69.9
12	男鹿市	77,731	2.2	△8.1	11	29,708	2.9	16	2,617	78.5
13	仙北市	76,561	2.2	△13.7	12	27,727	2.7	13	2,761	82.8
14	美郷町	41,697	1.2	△13.5	14	20,360	2.0	25	2,048	61.4
15	三種町	38,731	1.1	△10.4	15	17,412	1.7	23	2,224	66.7
16	羽後町	36,049	1.0	△0.0	16	15,613	1.5	21	2,309	69.2
17	小坂町	28,430	0.8	△25.8	20	5,608	0.5	2	5,070	152.0
18	五城目町	26,988	0.8	△2.3	17	9,706	0.9	12	2,781	83.4
19	八峰町	19,676	0.6	0.1	18	7,510	0.7	15	2,620	78.6
20	大潟村	18,792	0.5	△0.9	23	3,117	0.3	1	6,029	180.8
21	井川町	13,195	0.4	△22.7	21	5,088	0.5	17	2,593	77.8
22	八郎潟町	12,685	0.4	△14.5	19	6,169	0.6	24	2,056	61.7
23	藤里町	8,588	0.2	△4.6	22	3,500	0.3	18	2,454	73.6
24	東成瀬村	6,548	0.2	△11.9	24	2,703	0.3	19	2,423	72.6
25	上小阿仁村	5,590	0.2	△10.3	25	2,425	0.2	22	2,305	69.1
	県計	3,458,565	100.0	△8.4		1,036,982	100.0		3,335	100.0

(注) 1 計数は端数処理しているため、各市町村の計や各項目の計が一致しない場合がある 2 人口については、県計は総務省「推計人口」(各年10月1日現在)、各市町村は秋田県調査統計課「秋田県の人口と人口動態」(同) 3 「H26/H18」は各市町村内総生産の増減率(平成18年度→26年度) 4 対県平均(県平均=100) 5 以下、図表同じ

てみると、秋田市が1兆2,753億円(18年度1兆3,550億円)と県全体(3兆4,586億円)の約3分の1を占め、秋田市への一極集中が顕著に表れている状況に変化はない。以下、横手市、由利本荘市、大館市、大仙市、能代市の5市が2千億円台で続いており、これら上位6市で県全体の総生産額の73.2%(18年度71.8%)のシェアを占めている。このなかで特に注目すべきは能代市のみが18年度と比べ増えていることで、製造業が主な成長要因となっている。

(2) 人口規模との比較

26年度の総生産額を人口規模と比較してみると、総生産額のシェアは18年度同様、概ね人口シェアに近いものとなっているが、秋田市が36.9%(18年度35.9%)と人口シェア30.7%を6.2ポイント上回っている。また、能代市が同1.1ポイント上回っているほか、電子部品・デバイス関連の製造業が集積するにかほ市が0.9ポイント上回っているのが目立っている。

人口1人当たりの総生産額では、大潟村が市町村別総生産規模の概況(平成18年度)

順位	市町村名	総生産額(百万円、%)			人口(人、%)			1人当たり総生産額(千円)		
		実数	シェア	H26/H18	順位	実数	シェア	順位	実数	対県平均
1	秋田市	1,355,026	35.9		1	331,834	29.3	4	4,083	122.7
2	横手市	308,360	8.2		2	102,548	9.0	9	3,007	90.3
3	大仙市	291,463	7.7		3	92,295	8.1	7	3,158	94.9
4	由利本荘市	288,483	7.6		4	88,594	7.8	6	3,256	97.8
5	大館市	249,359	6.6		5	81,714	7.2	8	3,052	91.7
6	能代市	218,175	5.8		6	62,287	5.5	5	3,503	105.2
7	湯沢市	156,429	4.1		7	54,489	4.8	12	2,871	86.2
8	にかほ市	153,065	4.1		13	28,699	2.5	3	5,333	160.2
9	北秋田市	113,647	3.0		8	39,441	3.5	11	2,881	86.6
10	鹿角市	102,179	2.7		9	36,160	3.2	13	2,826	84.9
11	仙北市	88,706	2.3		12	31,423	2.8	14	2,823	84.8
12	男鹿市	84,587	2.2		11	34,968	3.1	16	2,419	72.7
13	潟上市	78,698	2.1		10	35,560	3.1	19	2,213	66.5
14	美郷町	48,190	1.3		14	22,760	2.0	23	2,117	63.6
15	三種町	43,244	1.1		15	20,046	1.8	20	2,157	64.8
16	小坂町	38,305	1.0		20	6,670	0.6	2	5,743	172.5
17	羽後町	36,059	1.0		16	17,912	1.6	25	2,013	60.5
18	五城目町	27,623	0.7		17	11,418	1.0	15	2,419	72.7
19	八峰町	19,659	0.5		18	8,824	0.8	18	2,228	66.9
20	大潟村	18,956	0.5		23	3,218	0.3	1	5,891	176.9
21	井川町	17,078	0.5		21	5,802	0.5	10	2,943	88.4
22	八郎潟町	14,844	0.4		19	6,996	0.6	21	2,122	63.7
23	藤里町	8,998	0.2		22	4,242	0.4	22	2,121	63.7
24	東成瀬村	7,429	0.2		24	3,110	0.3	17	2,389	71.8
25	上小阿仁村	6,235	0.2		25	3,023	0.3	24	2,063	62.0
	県計	3,774,796	100.0			1,134,047	100.0		3,329	100.0

経済の動き

6,029千円（18年度5,891千円）で最も多く、次いで小坂町が5,070千円（同5,743千円）、にかほ市が4,604千円（同5,333千円）の順。18年度に比べ4位、5位が入れ替わったものの、上位5市町村の顔ぶれは変わっていない。

4 市町村別総生産の主な経済活動別の概況

県全体の経済活動別市町村内総生産を平成26年度と18年度を比較してみると（図表3）、米の取引価格の低下による農業の不振に加え、総生産のうち構成割合の比較的高い製造業が「リーマン・ショック」に伴う世界的な需要縮小の影響を受け、2割弱大きく落ち込んでいる。主な経済活動（産業）別に各市町村の状況をみると、次のとおりとなっている。

(1) 農業

26年度は横手市のシェアが15.5%（18年度15.7%）、大仙市が12.8%（同12.6%）、由利本荘市が6.7%（同6.3%）の順となっているほか、町村では大潟村が6.6%（同6.5%）、三種町が4.2%（同4.5%）を占めており、横手、大

仙の両市を除けば、上位市町村間にそれほど大きな開きはない。このなかで、秋田市のシェアが18年度に比べ1.0ポイント上昇し、逆に鹿角市が1.4ポイント下げているのが目立っている。

(2) 製造業

26年度のシェアは秋田市が23.6%（18年度22.3%）、にかほ市が13.0%（同16.8%）、由利本荘市が10.0%（同10.2%）、横手市が9.9%（同9.7%）、大館市が9.8%（同5.7%）と、上位5市で県全体の7割近くを占めている。このうち、大館市が医療用器具・医薬品製剤関連の集積により18年度に比べ4.1ポイント上昇し、シェアを高めているのが目を引く。その他に、能代市も医薬品製剤の大型工場の立地などにより同3.8ポイント上昇し、急激にシェアを高めている。この間、県内全体の総生産が2割弱減少しているなかで、にかほ市や由利本荘市など製造業のウエイトが高い市部において、主力の電子部品・デバイス的大幅な落ち込みにより、減少幅が特に大きい状況となっている。

図表3 市町村別総生産の主な経済活動別の内訳
（平成26年度）
（単位：百万円、%）

農 業			製 造 業			卸 売 ・ 小 売 業		
市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア
横手市	12,979	15.5	秋田市	105,854	23.6	秋田市	173,921	48.5
大仙市	10,664	12.8	にかほ市	58,248	13.0	横手市	34,312	9.6
由利本荘市	5,596	6.7	由利本荘市	44,921	10.0	大館市	29,572	8.2
大潟村	5,549	6.6	横手市	44,496	9.9	大仙市	23,533	6.6
大館市	5,316	6.4	大館市	44,175	9.8	由利本荘市	18,566	5.2
秋田市	5,058	6.1	能代市	33,452	7.4	能代市	16,890	4.7
能代市	4,651	5.6	大仙市	24,084	5.4	湯沢市	10,023	2.8
湯沢市	3,632	4.3	湯沢市	22,197	4.9	北秋田市	6,944	1.9
三種町	3,498	4.2	小坂町	11,376	2.5	鹿角市	6,884	1.9
美郷町	3,398	4.1	北秋田市	9,886	2.2	男鹿市	5,536	1.5
羽後町	3,329	4.0	鹿角市	8,827	2.0	潟上市	5,292	1.5
仙北市	3,118	3.7	潟上市	7,746	1.7	にかほ市	4,995	1.4
北秋田市	2,934	3.5	羽後町	5,670	1.3	仙北市	4,519	1.3
鹿角市	2,712	3.2	仙北市	5,367	1.2	美郷町	4,174	1.2
小坂町	2,133	2.6	男鹿市	4,872	1.1	大潟村	2,453	0.7
男鹿市	2,116	2.5	美郷町	3,651	0.8	三種町	2,230	0.6
潟上市	1,530	1.8	五城目町	3,306	0.7	五城目町	2,045	0.6
にかほ市	1,356	1.6	三種町	2,960	0.7	井川町	1,950	0.5
八峰町	861	1.0	大潟村	2,590	0.6	羽後町	1,789	0.5
五城目町	852	1.0	井川町	2,546	0.6	八峰町	1,096	0.3
井川町	739	0.9	八峰町	1,284	0.3	八郎潟町	679	0.2
八郎潟町	458	0.5	八郎潟町	1,165	0.3	小坂町	619	0.2
藤里町	405	0.5	上小阿仁村	232	0.1	藤里町	235	0.1
上小阿仁村	343	0.4	藤里町	123	0.0	上小阿仁村	214	0.1
東成瀬村	279	0.3	東成瀬村	72	0.0	東成瀬村	146	0.0
県 計	83,506	100.0	県 計	449,100	100.0	県 計	358,622	100.0

市町村別総生産の主な経済活動別の内訳
（平成18年度）
（単位：百万円、%）

農 業			製 造 業			卸 売 ・ 小 売 業		
市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア
横手市	16,768	15.7	秋田市	122,785	22.3	秋田市	201,753	50.8
大仙市	13,474	12.6	にかほ市	92,235	16.8	横手市	35,549	9.0
大館市	7,000	6.6	由利本荘市	56,298	10.2	大館市	29,406	7.4
大潟村	6,919	6.5	横手市	53,365	9.7	大仙市	25,392	6.4
由利本荘市	6,682	6.3	大仙市	48,883	8.9	由利本荘市	19,990	5.0
能代市	5,700	5.3	大館市	31,538	5.7	能代市	19,703	5.0
秋田市	5,423	5.1	湯沢市	30,295	5.5	湯沢市	11,419	2.9
鹿角市	4,917	4.6	能代市	19,792	3.6	鹿角市	7,191	1.8
湯沢市	4,881	4.6	小坂町	15,863	2.9	にかほ市	6,909	1.7
三種町	4,858	4.5	潟上市	14,667	2.7	北秋田市	6,465	1.6
北秋田市	4,355	4.1	北秋田市	12,854	2.3	男鹿市	5,865	1.5
仙北市	4,130	3.9	鹿角市	8,763	1.6	仙北市	5,710	1.4
美郷町	3,978	3.7	美郷町	7,931	1.4	美郷町	4,044	1.0
羽後町	3,703	3.5	仙北市	6,631	1.2	潟上市	3,969	1.0
潟上市	3,066	2.9	井川町	6,078	1.1	大潟村	3,365	0.8
男鹿市	2,577	2.4	羽後町	5,106	0.9	三種町	2,109	0.5
小坂町	1,988	1.9	男鹿市	4,840	0.9	五城目町	1,981	0.5
にかほ市	1,690	1.6	五城目町	4,813	0.9	羽後町	1,697	0.4
八峰町	1,171	1.1	三種町	3,291	0.6	井川町	1,613	0.4
五城目町	929	0.9	八峰町	1,323	0.2	八郎潟町	846	0.2
井川町	926	0.9	八郎潟町	857	0.2	八峰町	828	0.2
八郎潟町	580	0.5	上小阿仁村	606	0.1	小坂町	652	0.2
藤里町	526	0.5	藤里町	343	0.1	藤里町	309	0.1
上小阿仁村	346	0.3	東成瀬村	231	0.0	上小阿仁村	229	0.1
東成瀬村	251	0.2	大潟村	97	0.0	東成瀬村	149	0.0
県 計	106,838	100.0	県 計	549,485	100.0	県 計	397,142	100.0

図表4 市町村村民所得の概況（平成26年度）

順位	市町村名	市町村村民所得 (百万円)				順位	市町村名	1人当たり市町村村民所得	
		雇用者報酬	財産所得	企業所得	実額(千円)			対県平均	
1	秋田市	928,039	549,693	40,434	337,912	1	大潟村	3,471	140.7
2	横手市	212,448	117,655	10,702	84,091	2	秋田市	2,912	118.0
3	由利本荘市	191,741	109,343	9,304	73,094	3	にかほ市	2,823	114.4
4	大仙市	190,447	109,360	9,400	71,687	4	小坂町	2,683	108.8
5	大館市	181,025	99,159	9,540	72,326	5	能代市	2,524	102.3
6	能代市	140,570	71,881	6,190	62,499	6	大館市	2,408	97.6
7	湯沢市	101,713	56,669	5,352	39,692	7	由利本荘市	2,371	96.1
8	潟上市	73,972	45,430	3,995	24,547	8	横手市	2,282	92.5
9	にかほ市	72,997	37,112	3,282	32,603	9	大仙市	2,267	91.9
10	北秋田市	70,948	39,458	3,438	28,052	10	潟上市	2,218	89.9
11	鹿角市	70,118	38,588	3,410	28,120	11	鹿角市	2,171	88.0
12	男鹿市	60,063	33,581	2,697	23,785	12	湯沢市	2,136	86.6
13	仙北市	57,213	31,006	2,825	23,382	13	井川町	2,134	86.5
14	美郷町	40,515	23,720	2,512	14,283	14	五城目町	2,114	85.7
15	三種町	35,155	19,117	2,038	14,000	15	八郎潟町	2,112	85.6
16	羽後町	31,210	17,587	1,719	11,904	16	北秋田市	2,102	85.2
17	五城目町	20,520	11,386	882	8,252	17	仙北市	2,063	83.6
18	小坂町	15,048	6,934	628	7,486	18	男鹿市	2,022	82.0
19	八峰町	14,751	8,012	697	6,042	19	三種町	2,019	81.8
20	八郎潟町	13,028	7,854	789	4,385	20	羽後町	1,999	81.0
21	井川町	10,860	6,288	589	3,983	21	美郷町	1,990	80.7
22	大潟村	10,818	4,992	467	5,359	22	八峰町	1,964	79.6
23	藤里町	6,089	3,303	222	2,564	23	上小阿仁村	1,741	70.6
24	東成瀬村	4,671	2,582	211	1,878	24	藤里町	1,740	70.5
25	上小阿仁村	4,221	2,312	192	1,717	25	東成瀬村	1,728	70.0
	県計	2,558,180	1,453,022	121,515	983,643		県計	2,467	100.0

市町村村民所得の概況（平成18年度）

順位	市町村名	市町村村民所得 (百万円)				順位	市町村名	1人当たり市町村村民所得	
		雇用者報酬	財産所得	企業所得	実額(千円)			対県平均	
1	秋田市	953,796	599,035	45,126	309,635	1	大潟村	3,142	131.2
2	横手市	224,194	133,194	12,402	78,598	2	にかほ市	3,036	126.8
3	由利本荘市	212,980	129,742	11,444	71,794	3	秋田市	2,874	120.0
4	大仙市	210,329	124,731	11,284	74,314	4	小坂町	2,572	107.4
5	大館市	185,046	109,223	10,501	65,322	5	由利本荘市	2,404	100.4
6	能代市	145,557	82,409	7,580	55,568	6	能代市	2,337	97.6
7	湯沢市	111,074	64,947	6,169	39,958	7	大仙市	2,279	95.2
8	にかほ市	87,142	46,664	4,343	36,135	8	大館市	2,265	94.6
9	北秋田市	80,790	48,039	4,392	28,359	9	横手市	2,186	91.3
10	潟上市	75,873	48,582	4,619	22,672	10	潟上市	2,134	89.1
11	鹿角市	73,850	43,034	4,153	26,663	11	八郎潟町	2,105	87.9
12	男鹿市	67,498	40,566	3,743	23,189	12	井川町	2,087	87.1
13	仙北市	62,225	35,605	3,486	23,134	13	北秋田市	2,048	85.5
14	美郷町	44,016	27,391	2,816	13,809	14	鹿角市	2,042	85.3
15	三種町	37,668	21,980	2,354	13,334	15	湯沢市	2,038	85.1
16	羽後町	32,597	19,917	2,111	10,569	16	五城目町	2,034	84.9
17	五城目町	23,225	14,225	1,306	7,694	17	仙北市	1,980	82.7
18	小坂町	17,153	8,033	808	8,312	18	美郷町	1,934	80.8
19	八峰町	16,455	9,856	977	5,622	19	男鹿市	1,930	80.6
20	八郎潟町	14,726	9,365	934	4,427	20	三種町	1,879	78.5
21	井川町	12,110	7,208	718	4,184	21	八峰町	1,865	77.9
22	大潟村	10,110	5,456	493	4,161	22	羽後町	1,820	76.0
23	藤里町	6,867	4,089	379	2,399	23	東成瀬村	1,747	72.9
24	東成瀬村	5,433	3,223	310	1,900	24	上小阿仁村	1,713	71.5
25	上小阿仁村	5,179	3,178	279	1,722	25	藤里町	1,619	67.6
	県計	2,715,893	1,639,692	142,727	933,474		県計	2,395	100.0

(3) 卸売・小売業

秋田市が18年度に比べてややシェアを落としたものの、県全体の半分近いシェアを占め、突出して高い状況に変わりはない。以下、横手市が9.6%、大館市8.2%と続いており、農業や製造業に比べ市部の順位に変動は少ない。

5 市町村村民所得の概況

ここまでは総生産の面から各市町村の現状をみてきたが、新たに生み出された付加価値（＝総生産）は雇用者報酬及び財産所得、企業所得として分配される。労働力を提供した人に対して分配されるのが賃金（雇用者報酬）であり、他に地代、利子などの財産所得と、企業利潤である企業所得からなるのが市町村村民所得である。

図表4はこの市町村村民所得の状況をまとめたものである。平成26年度の所得の高い市町村をみると、やはり秋田市が9,280億円（18年度9,538億円）で最も高く、次いで横手市が2,124億円（同2,242億円）、由利本荘市が1,917億円（同2,130億円）と市部が上位を占めている。

一方、市町村の所得水準を比較するときによく使われる「1人当たり市町村村民所得」では、大潟村が3,471千円（同3,142千円）で最も高く、以下、秋田市2,912千円（同2,874千円）、にかほ市2,823千円（同3,036千円）の順となっており、この3市村に、小坂町2,683千円、能代市2,524千円を含めた5市町村が県平均（2,467千円）を上回っている。

6 おわりに

「市町村村民経済計算」は、市町村経済を共通の基準で総合的且つ包括的に数量化した数少ない統計であり、産業構造分析や時系列・市町村間比較等を通じて、各市町村経済の特徴や課題等について、多くの示唆を与えてくれる。また、現在は、内閣官房及び経済産業省が提供する「地域経済分析システム（RESAS）」を使い、市町村自らが地域の産業構造などを様々なグラフやマップで分析できるツールも整えられている。

小稿は固より、市町村の順位付けを意図したものでないことをお断りしたい。（加賀谷信也）